



学習企画

第6回

「軍事国家への道を許さない」

法的には戦争状態の北朝鮮

今回は、まず北朝鮮の軍事力を見てみます。まず北朝鮮と国連軍との間は、現在は休戦協定が結ばれているものの、国際的には戦争状態であるということは、前々回に記しました。

朝鮮戦争は、朝鮮半島の国家統一を巡る戦争であり、北緯38度線の軍事境界線を境に北朝鮮軍の陸軍部隊と韓国軍の陸軍部隊が高密度で配置されている地域になっているという特徴があります。

北朝鮮と韓国軍は、本格的な陸上戦を想定していることから、下表にあるように陸軍が中心になります。見た目では北朝鮮は優勢に見えますが、韓国軍は攻

撃ヘリコプターを保有していることおよび空軍が圧倒的に上回っていることをみると、北朝鮮軍が不利になっている状況です。そして、稼働率という点から見るとガソリンや物資、あるいは兵器の手入れなど経済的に厳しい北朝鮮の状況からすると、かなり稼働率が低いことがわかり、下表の数字以上の軍事力差があると思われる。



▲朝鮮半島 (出典: Wikipedia)

| | 戦力 | 北朝鮮 | 韓国軍+アメリカ軍 |
|----|--------------|--------|-----------|
| 陸軍 | 兵員 | 110万人 | 49万人 |
| | 大砲 | 8,600門 | 5,000門 |
| | 多連装ロケット | 5500両 | 254両 |
| | 機甲旅団および機械化旅団 | 25旅団 | 19旅団 |
| | 攻撃ヘリコプター | 0 | 140機 |
| 空軍 | 兵員 | 11万人 | 9万人 |
| | 第4世代以降の攻撃機 | 1飛行隊 | 21飛行隊 |

◀ミリタリーバランス2020より作成

注) 旅団は、5000人程度の軍人の組織

日本への影響

ちなみに北朝鮮の海軍は潜水艦20隻・水上戦闘艦2隻という状態ですから、日本への軍事侵攻はきわめて非現実的と言えます。

一方大陸間弾道ミサイルは、現在開発中ですが本当に使用できるレベルかというところ極めて怪しいところです。というのは、この間ミサイルを発射させていますが、ミサイルの着弾位置が不明確であるなど成功して

いるかどうかきわめて不透明なのです。そもそも固定式のミサイルが十分に成功していないにもかかわらず、移動式(トラックに搭載したもの)のミサイルの技術を取得しているとは到底考えにくいのです。また、2段ロケットも十分に成功していないにも関わらず、3段ロケットを発射するという行動にでています。ここから見てとれるのは、技術的には不十分でミサイルの機能

としても不十分であったとしても、威嚇行動としてミサイルを発射しているという側面が強いように見受けられます。

なお、さきほど「北朝鮮と国連軍との間は、現在は休戦協定が結ばれているものの、国際的には戦争状態である」と記しましたが、実は日本にも国際連合軍

が駐留しているという点は押さえておく必要があります。東京都の横田基地・神奈川のキャンプ座間と横須賀海軍施設・長崎県の佐世保基地・沖縄県の嘉手納基地と普天間基地とホワイビーチです。仮に北朝鮮と国連軍が戦争になった場合は、日本にあるこれらの連合軍基地も標的になる可能性があります。

中国の軍事力

次に中国の軍事力です。現在もっとも報道されている台湾有事との関係で大いに国民の関心の高いところです。まず押さえておくことは、中国の戦略も、アメリカを強く意識したものとなっていることです。そのために、中国に有利な経済活動を行うような環境をつくるという目的が軍事戦略にあります。そのために南シナ

海と太平洋・インド洋への進出が自由な海洋活動を行う上でキーポイントとなっています。

中国の軍事力ですが下の表のようになります。中国は、国土が広いことと、他国と国境を面しているために陸上兵員が多くなっています。

| | 陸上兵員 | 海上兵力 隻(トン数) | 航空兵力 |
|------|------|-------------|--------|
| アメリカ | 67万人 | 980隻 689万トン | 3,560機 |
| 中国 | 98万人 | 750隻 197万トン | 3,020機 |
| 日本 | 14万人 | 140隻 50万トン | 380機 |

◀ミリタリーバランス2020より作成

海上兵力ですが、隻数は多いのですが、トン数(艦船の大きさを表すものです)で見ると、中国の海上兵力はさほど大きくないのがわかります。また、航空兵力は、現在主力の第4世代以降の要撃機ということになると941機しか保有をしていません。つまり古い機種が

多いということになります。

このように見てみると東アジア地域において中国が圧倒的な軍事力を持っているとはとうてい言いがたいことがうかがえます。

さて、核兵器を見てみます。右の表からわかるように中国の核兵器は、もっぱらアメリカ本土やグアムやハワイに向けたもの(戦略核兵器はありますが、戦術核兵器はありません。)です。日本への直接脅威になるものではないことが見てとれます。このように見てみると、中国が軍事的に日本の脅威になりうる状況ではないことがわかります。(国吉)

| 種別 | 中国 | ロシア | アメリカ |
|-------|------|--------|--------|
| 戦略核兵器 | 320発 | 2,440発 | 3,570発 |
| 戦術核兵器 | 0発 | 1,875発 | 230発 |

▲ミリタリーバランス2020より作成

注: 戦略核兵器は5,000km以上の射程
戦術核兵器は5,000km未満の射程